

## クリスマス・新年のご案内

クリスマスおめでとうございます！

クリスマスを軒の教会で過ごしましょう♪ YouTubeでのライブ配信もあります

### —クリスマス礼拝・クリスマス会—

**12月19日(日) 11時~**

クリスマスの礼拝と、その後、お祝いの会をします。

### —キャンドルを灯してのイブ礼拝—

**12月24日(金) 19時30分~**

ろうそくに火を灯して礼拝を行います。

19日、24日のクリスマスメッセージ：**奥田 知志** 牧師

(当教会牧師、NPO 法人抱樸理事長)

### —元旦礼拝—

**1月1日(土) 11時~**

新年を教会で迎えましょう！

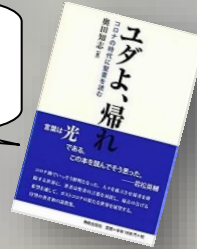
毎年、干支にちなんだ聖書のお話が聞けます。

### —新年礼拝—

**1月2日(日) 11時~**

新年最初の日曜礼拝にも、ぜひどなたもご参加ください。

初の説教集、刊行！  
詳細は裏面にて。



すべての礼拝は YouTube でライブ配信を行います。YouTubeで「東八幡教会」を検索してください。



東八幡教会一星の下一  
チャンネル登録者数 2890人

#### クリスマスエッセイ「プレゼントの本当の意味」

牧師 奥田知志

僕は本当に恵まれた家庭に育ったと思う。NPO抱樸(困窮者支援)の活動の中で出会った若者たちがどれだけ苦労し寂しさと悲しみの中を生きてきたかと思うと申し訳ない気持ちにさえる。

僕の親父は経済成長期のサラリーマンだった。日々忙しくしていたがクリスマスは必ず早く帰宅し家族と過ごした。丹前(冬用のきもの)を来た親父が(ちなみにわが家では「パパ」と一時期呼称していた)鯨のペーコンで一杯やっている。我が家のクリスマスイブは毎年すき焼きとクリスマスケーキが準備された。鍋奉行の親父が仕切る。子どもたちはすき焼きが出来上がるのを今か今かと待っていた。

親父が「知志、玄関でガタガタって音がしたぞ。見ておいで」と言い出す。そう、決まってそう言うのだ。行ってみると何も無い。「何もなかったよ」と告げ、食事が再開する。

しばらくすると「知志、玄関で音がした。見ておいで」と再び親父が言う。ドアを開けるとそこにはサンタさんからのプレゼントが兄貴の分と共に置いてあった。僕は飛び跳ねるように「サンタが来てくれた！」と親父に報告する。親父は微笑みながら一杯やっている。物心ついた頃からこの「年中行事」は繰り返し僕らの心に刻まれた。

小学校4年生のクリスマスだったと思う。夕方、近所の友達と遊んでいると親父が遠くに見えた。「ああ、パパだ」と一瞬走り出したが足が止まった。親父は大きな荷物を抱えていたのだ。僕の中で「これには触れていけない」というブレーキがかかった。我が家の隣りは平尾さん家で、ブロック塀があった。当時のブロック塀にはところどころ模様のような部分があって、その模様の隙間から向こうが覗けて見えた。僕はというと塀の後ろに息を潜めて隠れつつ「見てはいけないもの」を見ていた。親父はそのまま玄関に入ってしまった。

数時間後、いつも通り「知志、見ておいで」。一回目が始まった。なにも無い。そして二回目、玄関を開けると先ほど親父が抱えていた「あの荷物」がそこにはあった。「サンタは親父だったのか」。数時間前に沸々と湧き出した疑念が晴れた。

しかし、その後が大変だった。僕は付度する子どもだった。「なんやパパだったんか」とは言えなかった。だから精一杯いつも通り飛び跳ねて「サンタさんが来てくれた！」と喜んで見せた。「事実を言っただけじゃない」という思い、親父たちがこれまでしてくれたことへの感謝。一方でなぜか寂しかった。僕は少々大人になった。

これには後日談がある。翌年のクリスマスイブ。クリスマスプレゼントは、その年以降、親父からの手渡しとなった。さすがに親父たちは「バレた」ことに気付いていたようだ。「サンタはどうなったの」と僕は尋ねることもなく、当然のように「ありがとう」と受け入れた。

人は誰かから「してもらったこと」を次の人にすることが出来る。僕の子どもの頃のあの経験が今の牧師の仕事や困窮者の支援に引き継がれていると思う。自分が親父になってからはクリスマスには「サンタ」にもなれた。

NPO抱樸は「子ども家族まるごとプロジェクト」を実施している。訪問型の学習支援と一体的に世帯をまるごと支援する。「親だったら何でちゃんとやらないの」と言いたくなるケースが少なくない。しかし、その親自身、子どもの頃「してもらっていない」。自分がしてもらっていないことを誰かにすることは難しい。「なんでお弁当を作ってあげないの」と言いたいが、一度もお弁当を作ってもらっていない親にはそれは大変なことなのだ。相続されていない。

NPO抱樸では、このような引き継ぎを「社会的相続」と認識し、支援の柱とした。運動会の朝、抱樸のスタッフが親と一緒にお弁当を作る。そこから社会的相続が始まる。血縁や身内を超え相続を社会化するのだ。あの苦しんだ若者たちが相続の主体になれる。僕はそう信じている。

イエスは「互いに愛し合いなさい」と教えた。しかし、イエスは人間には「社会的相続」が必要であることを知っていた。だから、彼は一言付け加えている。「私があなたを愛したように互いに愛し合いなさい」と。見事に相続になっている。

今年もクリスマスを迎える。クリスマスは全人類が既に神により愛されたことを証しする時である。それを信じる者は相続の担い手になれる。これがクリスマスプレゼントの本当の意味だと思う。

メリークリスマス！クリスマスおめでとうございます！

# 「ベテる」の 向谷地 生良 先生を迎えての 特別礼拝 開催！

2月13日(日) 11時～ 礼拝後は奥田牧師との三二対談も

これまでも何度か東八幡キリスト教会に来てくださっている向谷地生良（むかいやちいくよし）先生が、再び東八幡教会の礼拝に来てくださいます。

向谷地先生は、ご自身が教会員である浦河教会で精神障がいのある方々との共同生活を始められ、のちに「浦河ベテるの家」を設立して、「自分が自分の専門家」という「当事者研究」を全国に普及しておられます。

先生は東八幡教会のことを浦河教会の「姉妹教会」と呼んでくださっていて、「地域の悩みを自らの悩み」とする教会として連帯していこう、と呼びかけてくださいました。

その向谷地先生を5年ぶりに東八幡教会の礼拝にお迎えできることは私たちの大きな喜びです。ぜひ特別礼拝にご参加ください。出席を希望される方は、メールかお電話にて参加のご希望をお知らせください。

YouTubeでのライブ配信はどなたでも自由にご覧いただけます。

☎093-651-6669 ✉higashiyahata.ch.1955@nifty.com



## バザー米、販売中！ 新米の「れんげ米」が5kg 2,500円

例年11月23日に行っている教会バザーですが、去年、今年とコロナのために開催できていません。しかし、今年も美味しい「れんげ米」は販売中です！！実はこのれんげ米、れんげ畑からお米を作っています。手間暇かけて作られた減農薬のお米です。他で買うとお高いんです。東八幡で買うと5kg2500円！安い！！安すぎる！！是非この機会にお試し下さい！！

新米販売の収益金は、以下の目的に使われます。

- 1、共生地域創造財団（東日本大震災・福島原発被害者支援）
- 2、NPO 法人抱樸（困窮者支援）
- 3、ペシャワール会（アフガニスタンにおける医療活動支援）
- 4、PHD 協会（アジアとの交流支援）
- 5、久山療育園・太陽パン（「障害」者支援）
- 6、キリスト教海外医療団（JOCS）
- 7、佐々木さんを支援する会（アフリカ ルワンダにおける和解のプロジェクト）
- 8、ミンダナオ子ども図書館（フィリピン・ミンダナオ島紛争被害児支援）
- 9、東八幡キリスト教会の働きのために（新教会堂建築費用として）

ご注文は電話・メールで！ 郵送もいたします！（送料は実費）

☎093-651-6669 ✉higashiyahata.ch.1955@nifty.com



## YouTubeで過去の宣教を聴けます！ 字幕つきです！



東八幡キリスト教会では昨年4月からYouTubeの「東八幡教会一星の下」チャンネルにて、毎週の礼拝のライブ配信を公開で行っており、礼拝終了後も、宣教の部分をアーカイブで残して、いつでも見られるようにしています。多いものでは7千回以上再生されています。

全ての宣教動画には日本語字幕が付けられており、耳が不自由な方、文字があった方がわかりやすい方にも好評です。ぜひご活用ください！

## 奥田牧師、待望の 説教集 刊行！

昨年4月、イースター前の受難週から、初めての緊急事態宣言下で始まった、奥田牧師による「コロナの時代に聖書を読む」全15回の連続説教が1冊の本になりました。コロナ禍の不安の日々に東八幡教会がどのようなメッセージを発し続けたか。ぜひお読みください。定価1,980円。



## インターネット会員制度「星の下」

「すべての人のための教会になる一神様は、どうでもいい『いのち』をお創りになるほどお暇ではありません」。ここ数年、私たちはこの標語を掲げて教会活動を続けています。そんな私たちは、教会に出てくることのできない人とも繋がりたいと思い数年前からネットで繋がる会員制度「星の下」を始めました。今般のコロナ禍でネットの可能性は大きく広がっています。直接来ることのできない方もぜひ「星の下」で繋がりましょう！ 会員登録・詳細は、次のURLより。

<https://www.higashiyahata.info/member-concept/> ⇒

〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40 電話/FAX 093 (651) 6669

Email: [higashiyahata.ch.1955@nifty.com](mailto:higashiyahata.ch.1955@nifty.com) ホームページ: 「東八幡キリスト教会」で検索

牧師: 奥田 知志 石橋 誠一 協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生

